十九の春（ワルツ）

KOZA75

本調子

Ver S.1.0

四中工六工中四中工六工中

合四工四工四合上中合中上　あたしがあなたに

四中工合四五工合四五工合　ほれたのは

中合中工中合上中工合四工　ちょうどじゅうくの

中工上合上工四上中工五七　はるでした

乙四上中工五七四五四工四　あれからいくとせ

中上四合四五工合四五工合　すぎたやら

中合中工中合上中工合四工　つのるばかりの

中工上合上工四中工六工中　このおもい

四中工六工中

十九の春（ワルツ）ＫＯＺＡ７５

本調子

Vori Sio

一、あたしがあなたに惚れたのは　ちょ
うど十九の春でした　あれからいく
とせ過ぎたやら
募るばかりのこの思い

三、あなたあなたと呼んだとて　あなた
は何処の空の下　山を押しのけ海を
超えあなたの胸にすがりたい

五、あなたの夢見て目が覚めて　戸打つ
音に外へ出た　意地悪夜風が闇を抜
け　空にゃ月が照るばかり

二、一銭五厘の葉書さえ　千里万里と旅
をする　同じ日本に住みながら　何
も知られん身の辛さ

四、この身は傷つき汚れても　恋する思
いは汚されぬ　流れる月日もよす波
も　初恋ばかりは消せやせぬ

六、奥山育ちの鶯は　梅の小枝で昼寝し
て
花の咲くような夢を見て
　ホーケーキョ・ホケキョと泣いて
ます
ホーケーキョ・ホケキョと泣いてま
す